

第5学年「家庭科」学習指導案

授業者 岡部 雅子

2月23日(金) 4階B室 10:00~10:40 話し合い 10:55~11:45

1 単元名 「お茶小をより快適な空間にするために」

2 単元について

学校は、子どもたちが毎日生活している空間である。子どもたちにとって当たり前存在するこの空間は、ふだんほとんど意識することはないが、生活環境は、心身の健康や安全、活動のしやすさに大きく影響している。

本単元では、毎日生活する子どもの視点で校舎内の環境を見つめ直し、「お茶小をより快適な空間にするためには、どうしたらよいか」との問いについて考えていきたい。活動に先立っては、そもそも学校の快適さとは何か、どの場所においても同じ快適さでよいのか、誰にとっての快適さであるべきなのか等、について子どもたちと考え、話し合う。そして、温度、照度、風向き、騒音の視点を示して、校舎内を調査し、改善すべき課題点を見出す。実現性、環境の視点からも検討して、見出した課題を明らかにしたら、グループで課題に対する提案を考える。提案は副校長先生に聞いていただいて、実現可能性の判断を含めた評価をいただく場を設けたい。

これまで授業者は、生活の中で課題を見つけたり、その課題をどのように解決するかを考えたりする場面を、子どもたちひとりひとり、あるいは個々の家庭での取り組みに委ねていることが多かった。本単元では、学習の中にそうした場面を設定して、子どもたち同士で課題を見出し、意見交換しながら改善案を考えさせたい。自分たちの提案が実現し、実際に課題が解決する経験ができるとなおよい。

生活空間の中には、よく見ると多様な快適さの種が存在している。しかし、そこに気づいて立ち止まり、考え、行動しなければ、何も変わらない。たとえ小さなことでも、自分たちで気づき、どうすればよいか考えて実践することの楽しさを経験することが、継続の意欲を育む源になると考えている。

3 学習指導計画(7時間目/全8時間)

- (1) 「学校の快適さとは」について話し合う。 (1時間)
- (2) 教室内の、温度、照度、風向き、騒音について調査し、快適かどうか確認する。 (1時間)
- (3) 校舎内の調査を行い、課題を見つける。 (2時間)
- (4) 前時の調査をもとにファミリーで提案場所をしぼり、説得力のある提案を考える。 (2時間)
- (5) 学級内で交流し、どの案を副校長先生に提案するか話し合っ決めて。 (本時1/1時間)
- (6) 副校長先生の前でプレゼンテーションを行い、学習を振り返る。 (1時間)

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- ・見出した課題を解決する提案を、説得力をもって発表できる。
- ・友だちの発表を聞いて、どの提案を選ぶべきか、根拠を持って判断できる。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
○お茶小をより快適な空間にするために、なぜその場所を改善した方がよいと考えたか、その理由と、改善方法のアイデアを発表する。	○誰にとっての、あるいは何のための快適さなのか等、問いに対して多様な視点から考えられているかに注目して聞くよう助言する。
○ファミリーごとの発表を聞き、学級として、副校長先生に提案したい場所を話し合う。	○自分たちがすぐに実行できることや、環境に配慮している視点を取り上げる。

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・家庭科の学習と子どもたちの生活を結びつける実践例について